

# RISING SUN

**第4号**  
発行責任者  
副校長 下町壽男

～学び続ける職員集団のための授業力向上通信～



## 私の授業開きから

私は今年度から人生初の中学数学を担当しています。戸惑いの連続ではありますが、明るく前向きな生徒たちと日々楽しく数学しております。

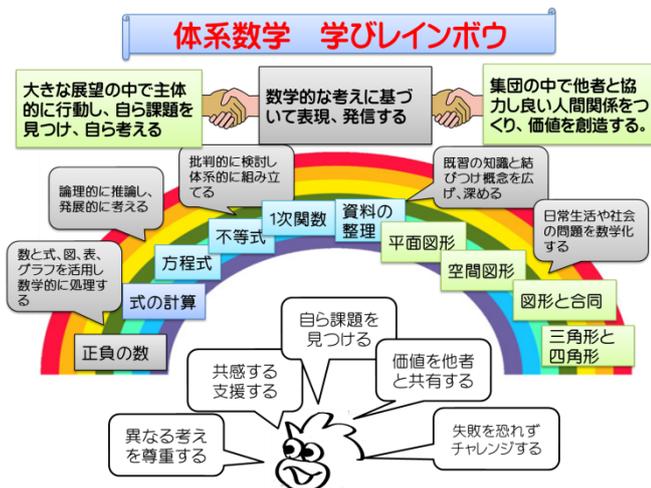
今回は私の数学の授業開き(オリエンテーション)の内容についてかいつまんで記したいと思います。手前味噌ではありますがご覧いただければ幸いです。

\*\*\*\*\*

## ■ 学びのレインボウ

オリエンテーションでは授業方針について説明するのですが、単にシラバスの説明で終わるのではなく、「なぜ学ぶのか」「どのように学ぶか」「何を学ぶのか」という Why→How→What という流れを意識して説明しています。

最初に、下図のような「学びレインボウ」というものを生徒に示し、次のように説明します。



本校では中高一貫校用の「体系数学」という教科書を用いています。そこでは「正負の数」「式の計算」「方程式」など10の単元で構成されています。

もちろん、それぞれの単元の内容を理解し、問題が解けるようになることは大切です。しかし、そのこと自体がゴールではありません。この単元を学ぶことによって、「数と式、図、表、グラフを活用し数学的に処理する」「論理的に推論し、発展的に考える」「批判的に検討し体系的に組み立てる」「既習の知識と結びつけ概念を広げ、深める」「日常生活や社会の問題を数学化する」というような、数学的に処理する力、発展的に考える力が身につくことが目標です。

でもね、それだけでもないのです。なぜ、学校に来て教室で学ぶのか。それは「隣の人と対話し、学びあうため」でもあるのです。そのような中で、異なる考えを尊重したり、他者と考えを共有したり、仲間と価値を創造したり、その上で自ら課題を見つけたり、失敗を恐れずチャレンジする気持ちを抱いたり。そのような力をつけるのも数学の授業の大きな役割です。そして、最終的に、

- ① 数学的な考えに基づいて表現、発信する
- ② 大きな展望の中で主体的に行動し、自ら課題を見つけ、自ら考える
- ③ 集団の中で他者と協力し良い人間関係をつくり、価値を創造する

という、「数学」「自分」「他者」という3つの側面が互いに関わり合いながら、皆さんの「学び続ける力」「生きる力」が育っていけばいいなと思います。

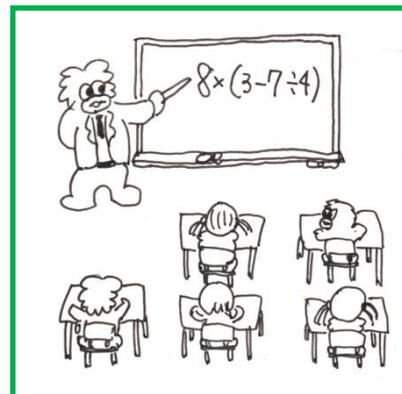
皆さんが授業に持ってくるものは、教科書、ノート、筆記用具の他に2つ大切なものがあります。それは「やる気スイッチ」と「前向きな気持ち」です。



## ■ シートアレンジメント

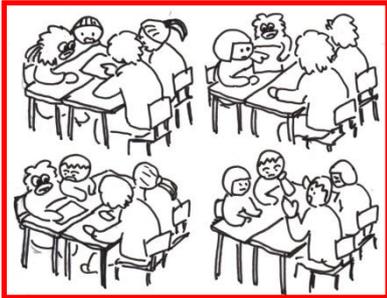
授業における活動の内容によって、教室のレイアウトは次のように変化することを説明します。

### ① 0フォーメーション



レクチャータイプ。教師の説明や個別の演習などの活動、動画の視聴などのときの形態です。

② Xフォーメーション



アイランドタイプ。グループでの課題解決や学びあいの授業における形態です。

③ 1フォーメーション



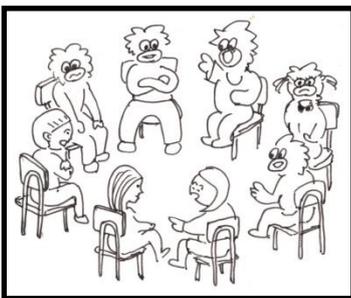
ペアワークタイプ。授業の振り返り・既習事項の確認などを行う形態です。

④ Yフォーメーション



トライアングルタイプ。三角ディベートやジグソー活動などを行う形態です。

⑤ Cフォーメーション



サークルタイプ。みんなでディスカッションしたり、真ん中でプレゼンしたりするときの形態です。

■ グループ活動のグランドルール

グループ学習は教師が過度に介入したり、逆に、生徒に丸投げすると失敗してしまいます。また、中学生は特に、コアな友達と一緒にグループになりたいという気持ちが強いので、ヘタをするとクラス内のヒエラルキーが助長されたり、いじめの温床となってしまうこともあります。それならグループワークはしない方がいいですね。

そこで、授業開きでは、次のようなスライドを示しながらグループ学習のグランドルールを説明します。その中で、グループ活動は、学習定着率の向上だけでなく、よい人間関係をつくるという意味があることを強調します。

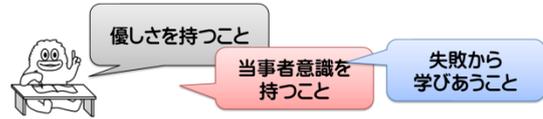
対話活動のグランドルール

【有意義な対話学習を行うための3つの心】

自分の意見を主張するだけでなく、相手の話を引き出し、共感しあう場にしよう。

グループ内でいい意見が出た場合、それを深め全員で共有しよう。

失敗や、間違いを恐れず積極的に話そう。そして、それを気兼ねなく行える空気をつくろう。



ディスカッションでよい人間関係を

贈りたいプラスのストローク

笑顔・うなずき・ほめる・励ます・慰める

贈らないマイナスのストローク

いじめる・たたく・イヤな顔を見せる・怒る・バカにする・けなす・皮肉を言う

絶対しない ティスカウト

人権を無視し、相手の「存在を認めない」「価値を認めない」「無視する」

「数学する」ための3つの目

鳥の目

■高いところから全体を見渡す  
■見通すこと。一般化すること。設計図を描くこと。

虫の目

■とことん掘り下げて考えること。  
■身の回りにあるものなど、具体的に例にあげてみる。

魚の目

■流れを理解すること。  
■相手の意見に共感しつつ、自分の考えを持つこと。

■ 授業の振り返り

授業の最後の3分間は振り返りの時間として確保しています。私は彼らの振り返りを読み、簡単なコメントを書いて双方向のやりとりを行います。授業の中では出てこなかった意見や疑問など、生徒の内なる声に耳を傾けることで私自身大きな学びを得ています。

■ 観点別評価

下のような図を示して、評価はテストの場面だけではないことを説明しています。

	知識・理解		
技能	小テスト		
	期末・中間テスト	課題への取組レポート等	
		グループワークへの貢献度	授業の振り返りシート
			思考・判断・表現
	関心・意欲・態度		